

試合番号 : 266	試合会場 : 旭川市リアルター夢りんご体育館 (旭川市総合体育館)	観客数 : 2,143					
開始時間 : 14:30	終了時間 : 15:59	試合時間 : 01:29					
主審 : 正岡 卓	副審 : 上総 向貴						
ヴォレアス北海道	通算 3勝 31敗 ポイント : 11	16 第1セット 25	パナソニックパンサーズ	通算 30勝 4敗 ポイント : 91			
監督コメント 大勢のホームファン前で今シーズン最後のホームゲームを満喫しました。今日も全力で頑張りましたが、試合の大部分でパナソニックパンサーズのレベルには及ばなかったです。 第1、第2セットはポイントを抑えるのが非常に難しかったです。パナソニックは安定しており、稀にあるアウトオブシステムでもラリーを取られてしまいました。同時に、接戦に必要なサイドアウトのレベルを維持することもできませんでした。第3セットでは主にトランジションのチャンスをもにすることでなんとか接戦を保ちました。 次の試合まではまだ1週間あるので、良い結果で終わることができるよう修正していきます。本日は沢山の方にお越しいただき、満員のアリーナでプレーすることができました。ありがとうございました。	0	16 第2セット 25	3	監督コメント 今日の試合は1位通過がかかった大事な試合でしたので、勝利することがとても大事でした。昨日と比べ内容的にも良いパフォーマンスができたと思います。特にサーブが良く、勝利したことで1位通過が確定して非常に嬉しいです。 次はファイナルステージで勝つことが目標です。そのために準備してまいりますので、ファンの皆さん、引き続き応援よろしくお願いします。			
		要約レポート ホーム最終戦となるヴォレアス北海道がパナソニックパンサーズを迎えての一戦。第1セット、序盤からパナソニックは仲本の好サーブで8-1とヴォレアスを突き離す。ヴォレアスは張、米村、戸田の攻撃で反撃に出るも、パナソニックは山内と大塚のスパイクが要所で決まり、流れを奪ってセットを取った。第2セット、ヴォレアスは張、米村、戸田を中心に攻撃。対するパナソニックは仲本、西山の攻撃で両者一歩も譲らない攻防戦が繰り広げられ、中盤にパナソニックがリードする。終盤ヴォレアスはルークを起用し反撃に出るも、パナソニックがセットを取った。第3セット、後がなくなったヴォレアスは前途中から起用したルークと山岸を引き続きスターティングメンバーに起用する。パナソニックは山本の好リシーブと深津の巧みなトワークをみせる。ヴォレアスは張、ルークを中心に攻撃し逆転するも、パナソニックは流れを譲ることなくストレートで勝利を収めた。			23 第3セット 25	第4セット	第5セット

試合番号 : 267	試合会場 : アリーナ立川立飛	観客数 : 2,704					
開始時間 : 15:07	終了時間 : 17:48	試合時間 : 02:41					
主審 : 慈眼 雅啓	副審 : 木内 誠二						
東京グレートベアーズ	通算 15勝 19敗 ポイント : 48	25 第1セット 20	東レアローズ	通算 16勝 18敗 ポイント : 45			
監督コメント 最後のホームゲームで勝利できたこと嬉しく思います。プレーオフ進出のチャンスがなかったわけではないので、チャンスをつかみ取れるように戦い続けたいと思います。本日はサーブの攻め合いで高いレベルの試合でした。来週に向けて準備を頑張りたいと思います。本日はたくさん応援ありがとうございました。	3	21 第2セット 25	2	監督コメント 今日の試合は全が何でも勝ちたい一戦でしたが、悔しい敗戦となりました。1人1人全力を出して戦ってくれましたが、あと一歩おぼひませんでした。ただし、ここで落ち込むのではなく、自力でファイナルステージをつかむチャンスは残っているのので、来週のホームゲーム最終戦に向けてしっかり準備してまいります。本日はたくさん応援ありがとうございました。			
		要約レポート 第1セット、序盤から両チームのミドルブロッカーが躍動する。東レアローズは渡辺を筆頭に守備を固め、簡単にボールを落とさない。対して、東京グレートベアーズはアラウージョのブロック、スパイクでリードする。終盤、東レはパダルの攻撃で反撃に出るが、東京GBは後藤がアタック決めセットを取った。第2セット、東京GBはアラウージョ、山田の早い攻撃で得点をする。対して東レは富田、パダルの多彩な攻撃でリードする。終盤、東京GBはアラウージョのスパイクで点差を縮めるが、東レは富田がブロックを引き裂くスパイクを決め、セットを取った。第3セット、序盤から東京GBは山田、深津のブロックやアラウージョのスパイクで大幅にリードする。中盤、東レは上條、高橋のブロックや粘り強い守備で4点差を逆転する。そこから、一進一退となりデュースにもつれ込む。東レは高橋のブロックが決まり、セット連取と思われたが、東京GBはアラウージョのサーブが決め、東京GBがセットを取った。第4セット、東レはパダルのサーブ、スパイクでリードする。東京GBはアラウージョ、後藤の攻撃で点差を縮める。終盤、東京GBは東レの拾って繋ぐ粘り強い守備を前になかなか得点できない。最後は東レの上條のブロックでファイナルセットに持ち込んだ。第5セット、東レは高橋の鋭いブロックで先制点をあげる。しかし、東京GBは後藤のスパイクやアラウージョのサービスエースでつき放す。東京GBは武藤がパダルのアタックをブロックする決定打でホームゲーム最終日を勝利で飾った。			28 第3セット 26	20 第4セット 25	15 第5セット 8

試合番号 : 268	試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館	観客数 : 3,076					
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:40	試合時間 : 01:40					
主審 : 林 淳一	副審 : 戸川 太輔						
ジェイテクトSTINGS	通算 13勝 21敗 ポイント : 38	25 第1セット 21	VC長野トライデンツ	通算 2勝 32敗 ポイント : 9			
監督コメント 今シーズン最後のホームゲームだったので、ファンの方々のために勝利することができて非常にうれいと思います。いつもたくさんのご声援ありがとうございます。来週も試合が続きますので応援よろしくお願いします。	3	25 第2セット 19	0	監督コメント 各セット、ゲーム前半にジェイテクトにリードされ、後半に頑張って追いつこうとしても苦しい展開になりました。チーム全体のミス本数を減らさなければ自分達の良いリズムは作れないと思いました。残り2試合もありますがしっかりと修正し、全員で全力でしっかりと最後まで戦い抜きたいと思っております。残り2試合もどうぞよろしくお願いいたします。残り2試合もどうぞよろしくお願いいたします。			
		要約レポート ジェイテクトSTINGSがVC長野トライデンツを迎えての対戦はジェイテクトがホーム最終戦を勝利で飾った。第1セット、サーブレシーブからスタートのジェイテクトがウルナウトのスパイクで得点すると藤中のスパイク、高橋(慶)のブロックによる連続得点でスタートを切った。中盤、VC長野が修のブロック、工藤のサービスエースで追いつき、そのまま競った展開になるかに見えたが、ジェイテクトは村山の2本連続ブロックを皮切りに高橋(慶)、ウルナウト、鏡がスパイクを決め一気に点差を広げた。VC長野は13-22から工藤が3本連続でサービスエースを取り、リリーフサーバーで入った中島がサーブで崩して連続得点で追いつけるも、最後はジェイテクト高橋(慶)がスパイクを決めてセットを取った。第2セットも、ジェイテクトが鏡、ウルナウトのブロックで連続得点してスタートする。VC長野は工藤、中野、修がスパイクを決め、トレントのブロックで追いつき、その後ジェイテクトがリードしVC長野が追いつける展開が続く。ジェイテクトは15-13に迫られたところから高橋(慶)のスパイク、村上のブロック、藤中のスパイク、リリーフサーバーに入った素が2本連続でサービスエースするなど点差を広げた。VC長野も工藤がサービスエースを決めるなど追いつきを見せたが、終盤ウルナウトに代わって入った藤原がスパイクを決めてジェイテクトが連取した。第3セット、このセットも出だしからジェイテクトが高橋(慶)、鏡のスパイクで得点し、リードして中盤まで進む。VC長野も修のスパイクが決まり粘りを見せるが、ジェイテクト村山のブロック、高橋(慶)のスパイクなどが要所で決まり、3点以上のリードを保ったままこのセットを取り、ストレートで勝利した。			25 第3セット 20	第4セット	第5セット

試合番号 : 269	試合会場 : おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)	観客数 : 3,119					
開始時間 : 13:35	終了時間 : 15:56	試合時間 : 02:21					
主審 : 城 智人	副審 : 山本 晋五						
サントリーサンパーズ	通算 28勝 6敗 ポイント : 79	27 第1セット 25	ウルフドッグス名古屋	通算 24勝 10敗 ポイント : 74			
監督コメント 本日もサンパーズへのご声援有難うございました。まずは最後までサンパーズらしく戦ってくれた選手達を心からたたえたいと思います。ウルフドッグス名古屋の強いサーブに苦しめられるシーンはあったものの、サンパーズは一歩も引かず、終止攻める姿勢と粘り強いディフェンスをみせる選手たちは本当に素晴らしいです。いつもと違うメンバーで臨んだ試合でしたが、非常に見ごたえのある試合だったと思います。負けたことには素直に悔しいですが、内容的にファイナルラウンドにつながる試合になりました。チーム全員がPLAY HARDを実践し、サンパーズらしく成長を求め進んでいきます。2日間サンパーズのホームゲームにおよそ3000人のファンが駆けつけてくれたことを嬉しく思います。来週、今季最後のホームゲームとなりますので、ぜひたくさんの方にお声かけいただき応援してください。本日も有難うございました。	1	22 第2セット 25	3	監督コメント いつも応援してくださっている世界中のファンの皆様、おおきにアリーナ舞洲へ足を運んでくださった皆様、心より感謝申し上げます。アウエーでありましたが、我々ウルフドッグス名古屋ファンの熱い声援がとても心強く感じました。改めて感謝申し上げます。昨日に引き続き、とてもハイレベルな試合となりました。選手たちはこのハイレベルな状況の中で試合を通じて経験を積み、素晴らしいプレーをする中で、一歩一歩成長してくれています。これからも厳しい試合が続きますが、一人ひとりがこのV.LEAGUEを通じて更に成長し続けられるように我々を応援してくださる皆様と一緒に最後まで戦い抜きます。世界中の人々がたくさん笑顔に囲まれますように、また卒業される皆様は、卒業しても良き友との友情が永遠に続きますよう心より祈っております。ご卒業おめでとうございます。			
		要約レポート 昨目のゲームで2位を確定させたサントリーサンパーズと3位を確定させたウルフドッグス名古屋の大事な一戦。第1セット、WD名古屋は庄のブロックや高梨、樺山のスパイクでリードする。一方、サントリーも甲斐、アラインのスパイクやサーブで追いつき、デュースへもつれ込む。一進一退の攻防が続く中、サントリーはリリーフサーブ西田のサービスエースが決まり、このセットを取った。第2セット、サントリーはアラインと甲斐の強烈なスパイクで攻撃をしかけるが、WD名古屋はリベロ小川を中心にボールを拾って繋ぐと、高梨、水町のスパイクで得点を重ねてこのセットを取り返す。第3セット、勢いに乗ったWD名古屋は水町の2連続ノータッチサービスエースで完全に主導権を握りリードを広げる。サントリーも甲斐のサービスエースやブロックで追いつきを見せるが及ばず、WD名古屋がセットを取った。第4セット、後の無くなったサントリーはこのセットより梶本、鳥飼を投入し流れに変化をみせて攻撃する。一方のWD名古屋は前のセットからリベロ再指名で出場の市川が好リシーブでチームを盛り上げると、水町、傳田、高梨のスパイクが要所で決まり、ポイントを重ねてWD名古屋が勝利した。			21 第3セット 25	22 第4セット 25	第5セット

試合番号 : 270		試合会場 : 出雲市総合体育館				観客数 : 1,286			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:15		試合時間 : 02:15		主審 : 千代延 靖夫		副審 : 國頭 亮太	
JTサンダーズ広島		通算 22勝 12敗 ポイント : 65		26 第1セット 24		日本製鉄堺ブレイザーズ		通算 17勝 17敗 ポイント : 50	
監督コメント	昨日よりチーム全体のパフォーマンスが向上し勝ち切ることができた。選手たちの頑張りに感謝したい。最後のホームゲームで勝利できて嬉しい。ファイナルラウンドへ向けて良い準備を続けたい。ファンの皆様ご声援ありがとうございました。			3		1		今日は非常に難しいゲームになりましたが、途中から出た選手達はそれぞれ、自分たちの役割を全うしてくれました。チーム全員で最後まで戦い、一体感を持って試合に臨めたことは更なる成長にとって重要なことだったと思います。また来週、チーム一丸となって全力で勝利を掴みにいきます。本日も熱い応援、ありがとうございました。	
				25 第2セット 23					
				23 第3セット 25					
				25 第4セット 21					
				第5セット					
要約レポート									
ホーム最終戦で勝利をつかみたいJTサンダーズ広島と連勝で流れに乗りたい日本製鉄堺ブレイザーズの一戦。第1セット、序盤から互いに譲らない展開となった。中盤、JT広島は坂下のアタックや江の強烈なバックアタックで1歩リードする。対する日鉄堺BZはバーノンや迫田のアタックで得点を重ね、終盤、バーノンのアタックで24-24と追いつく。しかし、最後はJT広島が江の連続得点でセットを先取した。第2セット、日鉄堺BZは序盤から竹元、松本のブロックが炸裂。対するJT広島は、江、坂下が両サイドからアタックを決め、試合をリードする。さらに、前田のサービスエースや新井のアタックでリードを広げた。終盤、日鉄堺BZは粘りを見せ、赤星のサービスエースなどで連続得点を奪うが、最後はJT広島が新井のアタックでセットを連取した。第3セット、後がなくなった日鉄堺BZはこのセット安井、鶴野、赤星を起用し、流れを変える。序盤から安井のブロック、バックアタックで得点を重ね、リードを奪う。勝利に王手をかけているJT広島は、坂下、新井のアタックが決まり、終盤に追いつくが、日鉄堺BZ安井のアタックでリードを広げ、このセットを奪った。第4セット、JT広島は新井、江のアタックで連続得点を奪う。対する日鉄堺BZも安井のアタックや赤星の2連続サービスエースで同点に追いつく。しかし、JT広島の勢いが止まらない。坂下のアタックや三輪のブロックなどで中盤、大きく点差をつけた。その後も川口や坂下が要所で得点を決め、JT広島がホーム最終戦を勝利した。									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									